



ご協力に感謝を込めて

草加光陽育成会 会長 森田 とし子

令和2年5月に草加光陽育成会会長に就任させていただいて一期目(2年間)が終了いたします。慣れない会長で不手際も多かったと思います。草加光陽育成会運営委員の方々をはじめ、会員の皆さまに支えていただき活動を進めることができました。心より感謝いたします。

令和2年度、3年度はコロナ禍で何ができるかを模索しながらの活動でしたが、新しく気付けたことも多かった気がします。この経験が無駄にせず、2期目も皆様と共に障害をもつ子どもたちが自分らしく過ごせる社会に向けて進んでいきたいと存じます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

また、令和4年9月11日(日)アコスホールにて草加光陽育成会50周年記念式典を行う予定でおります。半世紀に渡る「手をつなぐ親の会」活動を継続していただいた先輩の方々、ご支援いただいております皆様に感謝を込めて記念誌作成、式典の企画を進めております。改めてご案内致しますのでよろしくお願いいたします。

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

3月21日(月祝)草加市民体育館にて開催!

「みんななかま卓球バレー大会」

コロナ感染対策を万全にして、それでも不安を感じながらの開催でした。参加した皆さん、楽しんで頂けましたか?

来年こそ!ワイワイ、ドキドキの卓球バレー大会が開催できることを願っています。

次回は令和5年3月5日(日)です。

みんな、来てね!



「障害のある子どもがいても、

私らしく生きるための家族支援ワークショップ」

就学部 中川文字

3月18日、講師の吉川おかり先生を中心に、対面とオンラインの両方で行われたワークショップに参加しました。「自分らしく?でもどうせ自分は…」という気持ちも湧いて、自分の心と向き合う作業は始めは難しく感じましたが…。オンライン初対面5人のグループには、素直な気持ちを話していいという雰囲気があり、温もりある会話に「できることをすればいい」と感じて最後は前向きになりました。「親としての成長かあ…」まだまだ違いが辛く感じることもあるけどそれはふわっと乗り越えて…。

同じように子を思う人との繋がりに背中を押された時間でした。



令和4年度を迎え

社会福祉法人 光陽会
理事長 大橋 愛子

令和4年度年度の事業計画も決まりましたが、新型コロナウイルス感染症が、一日も早く収束し、計画された施設の活動行事が、実行できることを願います。利用者様がマスク無しで活動できるまでは、時間がかかりそうです。

令和3年度は、前年度に引き続き、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発出され、その中で、オリンピック・パラリンピックの開催がありました。新型コロナウイルスワクチン接種が進んだためか、感染者が減少したものの、当法人では、昨年末まで感染者が出ていませんでしたが、令和4年に入りオミクロン株による感染が急増し、皆様には大変ご心配をおかけ致しました。おかげさまで、感染された方々は重度化することなく、皆さん快復されました。

更に、感染予防対策のため、感染が発生した施設では、専門業者による施設内除菌と空気清浄機を導入致しました。

また、よくあるご質問ですが、入所金・協力は、一切いただいておりません。昼食代や行事参加費(入場料等)などは、各自ご負担いただいています。草加光陽育成会(草加市手をつなぐ親の会)への入会は、任意です。強制ではありません。

令和4年度の各施設の利用状況

(令和4年度4月1日現在)

施設名	定員	利用者数
生活介護 青空の家	30名	28名
生活介護 青柳太陽の家	27名	24名
生活介護 栄光の家	20名	16名
就労継続支援B型 西れんげ草	20名	16名
就労継続支援B型 希望の家	20名	18名
地域活動支援センター れんげ草	19名	18名
グループホーム光輪の家	20名	19名



送迎サービスについては、生活介護事業所、地域活動支援センターは、希望される利用者様へ実施しています。就労継続支援B型西れんげ草は、希望される利用者様に集合場所を決めて、ポイント送迎サービスを実施しています。また、希望の家は、希望される利用者様にスポット式の送迎サービスを開始するため、準備をしています。(各施設の送迎費用は、無料です) 本年度も皆様のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

賛助会員募集中

賛助会員を募集しております。詳しくは、お近くの会員またはホームページをご覧ください。



草加光陽育成会(草加市手をつなぐ親の会)
<https://www.soka-kouyouikuseikai.com/>



～ 編集後記 ～

当たり前だった日常が、新型コロナウイルス感染症により、制限ある行動やマスク生活など今までとは違う生活となり2年が過ぎました。そんな中でも、これからの未来を見据え、より良い社会のために行動しています。雨が降るから虹が出るように、明るい未来のために一日一日を大切に、安心して過ごせることを願うのみです。

発行にあたり、新成人の皆様を祝しますとともに、ご協力頂きました皆様に感謝を申し上げます。 玉木・川井